

重要取組シート

建設局 道路部 道路計画課

取組項目		【安全で快適な道路ネットワークの整備】 都市計画道路の整備
現状・課題		【現状】 本市の都市計画道路の計画総延長は約 276 k mである。整備状況については、令和 6 年度末現在、整備済路線延長が約 204 k m、整備率が約 74%、事業中路線延長が約 14.7 k mとなっている。また、未整備区間については、堺市都市計画道路整備プログラム（平成 28 年 6 月策定）により、優先整備の考え方や事業着手時期を示している。 【課題】 ○未整備区間（ミッシングリンク）が残っているため、整備済みの路線に期待される通行・空間機能が十分に発揮されず、ミッシングリンクの早期整備が必要である。 ○大規模地震や激甚化する風水害等の災害に備えるため、緊急交通路が寸断された場合の代替機能の強化や延焼遮断機能の強化、津波避難対象地域等における避難路確保等により、都市防災機能を強化する必要がある。 ○都市計画道路事業は、土地の境界確定や用地取得等、時間を要する事業であり、限りある財源のもと、早期の効果発現を図るため効果的かつ効率的に事業を進める必要がある。
		○事業中路線については、用地取得を進めながら早期に効果を発現させるために、一定の用地取得が完了した箇所から道路築造工事を進める。 ○具体的には、広域ネットワークを形成し都市防災機能の強化や渋滞緩和が期待できる南花田鳳西町線及び大阪河内長野線、世界遺産の玄関口における安全で快適な歩行空間を確保する出島百舌鳥線、駅へのアクセスや通学路等の安全性向上に資する草尾南野田線の工事進捗を確保する。 ○なお、都市防災機能を向上させるため、事業中路線は全て堺市無電柱化事業計画に位置付けており、道路築造にあわせて電線共同溝を整備する。 ○未整備区間については、市の方向性に合致する追加指標の検討や関連データの収集等を行い、堺市都市計画道路整備プログラムの精査を進める。 【事業中路線】 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）、大阪河内長野線（八下地区）、出島百舌鳥線、草尾南野田線、大阪和泉南線、常磐浜寺線、大阪河内長野線（北野田地区）、錦浜寺南町線、諏訪森神野線（浜寺・浜寺東地区）
スケジュール	前期 （～9月）	□ 事業中路線の用地買収の推進（通年） □ 草尾南野田線道路築造工事（工事用進入路整備）継続実施（5月まで） □ 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）道路築造工事（境界工等）継続実施（6月まで） □ 出島百舌鳥線道路築造工事（駅前広場整備）継続実施（8月まで） □ 草尾南野田線道路築造工事（擁壁改修）着手（9月） □ 出島百舌鳥線道路築造工事（道路拡幅）着手（9月） □ 堺市都市計画道路整備プログラムの時点修正等に資する全国道路・街路交通情勢調査等のデータ収集の実施（9月）

(様式 4)

	後期 (～3月)	☐ 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）道路築造工事（白鷺地区水路暗渠化）着手（10月） ☐ 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）道路築造工事（金岡地区水路暗渠化）着手（12月） ☐ 大阪河内長野線（八下地区）道路築造工事着手（2月） ☐ 未整備区間における追加指標に関連するデータ収集（3月） ☐ 堺市都市計画道路整備プログラムの時点修正等に資する全国道路・街路交通情勢調査等のデータのとりまとめ（3月）		
	次年度以降	☐ 大阪河内長野線（八下地区）の部分供用（令和9年予定） ☐ 事業中路線の工事、用地買収等の推進 ☐ 堺市都市計画道路整備プログラムの時点修正等		
進捗の状況	前期 (～9月)			
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する施策	5－（2）都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
	寄与するKPI	—		目標値（2025年度） —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献するSDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
	寄与するKPI	—		目標値（2025年度） —

重要取組シート

建設局 道路部 連続立体推進課

取組項目		【安全で快適な道路ネットワークの整備】 連続立体交差事業の推進（南海本線）
現状・課題		本事業は、南海本線の諏訪ノ森駅から浜寺公園駅付近における約2.7km区間において、安全で円滑な交通の確保、地域の一体的な発展及び良好な生活環境の確保のため、鉄道を高架化することで7箇所の踏切を除却するものである。また、鉄道の高架化にあわせて国登録有形文化財である旧駅舎を曳家、保存活用し、地域と協働した新たな魅力を創出することで駅周辺の活性化を行うものである。 【現状】 ・事業期間：平成 18 年度～令和 9 年度 ・全体事業費：約 423 億円（残事業費約 123 億円） （うち市費約 175 億円、残市費約 55 億円） ・用地取得状況：令和 6 年度末現在で、約 99%（事業区域内は残 1 件） 【課題】 ・効率的な鉄道工事の推進、事業費の平準化 ・長期にわたる事業、本格的な高架工事に伴う沿線住民、地元関係者との調整、対応 ・高架下空間の活用検討 ・阪堺線移設に伴う工事調整、跡地活用検討 ・事業計画の認可変更（事業期間及び全体事業費）
取組の内容		・鉄道事業者と連携し、地域住民への丁寧な周知・説明を行いながら、今年度に仮線工事を終え、全区間にわたり高架工事に着手する。また、事業計画の認可変更に関する大阪府への手続を実施する。 ・地域の一体的な発展のために、高架下空間の活用検討や阪堺線跡地活用に関する関係者との継続した意見交換を実施する。
スケジュール	前期 （～9 月）	☐ 関係機関協議、地元説明（通年） ☐ 鉄道仮線工事（南海施工：4～7 月） ☐ 鉄道高架工事（南海施工：通年） ☐ 阪堺線移設準備工事（阪堺施工：4～9 月） ☐ 鉄道仮下り線運行切替（浜寺公園駅部：7 月）※当切替により仮線切替完了 ☐ 事業計画の認可変更（大阪府への申請：4～8 月）
	後期 （～3 月）	☐ 阪堺線移設工事（阪堺施工：10～3 月） ☐ 事業計画の認可変更に伴う基本協定等の変更、地元説明（8～11 月）
	次年度以降	☐ 鉄道工事（高架、阪堺線移設） ☐ 鉄道事業者との用地交換処理 ☐ 高架下空間等の活用検討 ☐ 南海本線と阪堺線の乗り継ぎ利便性向上の検討 ☐ 旧駅舎の保存活用方針の検討 ☐ 浜寺公園駅前線の整備方針

(様式 4)

進捗の状況	前期 (～9月)			
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5－(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
	寄与する KPI	－	目標値（2025 年度）	
			－	
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
	寄与する KPI	－		目標値（2025 年度） －

重要取組シート

建設局 道路部 連続立体推進課

取組項目		【安全で快適な道路ネットワークの整備】 連続立体交差事業の推進（南海高野線）
現状・課題		本事業は、南海電気鉄道高野線の浅香山駅から堺東駅付近における約3.2km区間において、安全で円滑な交通の確保、地域の一体的な発展及び良好な生活環境の確保のため、鉄道を高架化することで10箇所の踏切を除却するものである。また、堺東駅周辺の都市関連計画と整合させ、駅前街区を再編し、都心部の活性化に大きな役割を果たすものである。 【現状】 ・事業期間：令和 3 年度～令和 19 年度 ・全体事業費：約 565 億円（うち市費約 230 億円） ・事業に必要なとなる用地の権利者数：約 500 人 【課題】 ・効率的な鉄道工事の推進と事業費の平準化 ・工場・共同住宅等多数の権利者との用地交渉 ・事業に支障となる占用物件の移設 ・堺東周辺関連計画と整合した都市基盤整備方針検討調整
取組の内容		・鉄道工事の着手に向けて詳細設計や準備工事を実施、鉄道事業者と連携し、事業進捗管理を実施する。 ・事業に必要なとなる用地取得を推進し、事業に支障となる占用物件（上下水道、ガス、電気、電話等）の移設協議を行う。 ・堺東周辺関連計画と整合を図った都市基盤整備方針に関する関係部署や関係者との協議調整を行う。
スケジュール	前期 (～9月)	☐ 用地交渉（通年） ☐ 測量、物件調査業務（通年） ☐ 鉄道事業者との協議（通年）
	後期 (～3月)	☐ 占用者との協議（通年） ☐ 鉄道準備工事（南海施工：通年） ☐ 都市基盤整備方針に関する庁内関係部署との調整（随時）
	次年度以降	☐ 事業用地取得 ☐ 鉄道工事着手
進捗の状況	前期 (～9月)	
	後期 (～3月)	

(様式 4)

2025	堺市基本計画	該当する 施策	5－（2）都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
		寄与する KPI	－		目標値（2025 年度） －
未来都市計画	堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
			寄与する KPI	－	